二人三脚（にんさんきゃく）

トーマスと サラは、なかなか 仲良しに なれませんでした。何かに つけ、いつも 意見が 合わないのです。けれども、おかしなことが ありました。この二人は、ほかの 人なら だれとでも、友だちに なれたのです。二人には、全く 同じ 友だちさえ いました。それなのに、トーマスと サラは、しょっちゅう 口げんかを していました。ある時 二人は、パーティーの ゲームで、チームに なりました。最初は、ちっとも うまく いきませんでした。

サラが いらいらして 声を あげました。「トーマスったら！ わたしが こっちに 行こうとすると、あなたは 反対の 方に 行きたがるのね。だから わたしたち、転んじゃうのよ。」

「じゃあ、ぼくの 行きたい方は、どうなっちゃうんだよ？」と、トーマスが 言いました。

トーマスと サラは、大きな ズボンの 片足に 自分たちの 片足を 入れているのですが、一人が 動こうと するたびに、もう一人が、がんこにも 反対方向に 行こうと するのでした。同じ ズボンを はいてから、二人は 一歩も 進めない 状態でした。たがいの足や うでの 上に 転んで、おこるばかりでした。

「あなたが 転ばせたのよ！」 サラが トーマスを せめ立てました。

「こんなの、全然 うまく いかないよ！」 トーマスも、大声で 言いました。

「わたしの せいじゃ ないわ！」と、サラ。

すると その時、友だちの マットと カレンが 通りがかりました。彼らも、同じ ズボンの 片足に 自分たちの 片足を 入れて、同じ ゲームを しています。けれども、マットと カレンは、何の 問題も なく 歩いているでは ありませんか。

「一体、どうやって いるのかしら？　わたしたちは 転んでばかり いるのに。」と、サラが 言いました。

トーマスは、マットと カレンに 声を かけて 言いました。「君たちは、どうやって そんなに うまく やっているんだい？　ぼくたちは、進もうと するたびに 転んでばかりなんだ！」

マットが 答えました。「わりと 簡単だよ。おたがい、相手に 合わせるように するんだ。まずは、カレンの 行きたい 方に 行く。その次は、ぼくの 行きたい 方に 行くんだ。」

「サラ、すごいじゃ ないか！」　トーマスが 声を 上げました。「ぼくたちは 二人とも、ちがう方にばかり 行こうと するから、いつも いつも 転んじゃうんだよ。」

サラが 立ち上がって 言いました。「じゃあ、わたしは あなたの 行きたい 方にばかり ついて行かなくちゃ いけないって ことなの？」

トーマスが 言いました。「ぼくたち、今は ちっとも 進めない 状態だろ。どうにか しないと。どこに 行くか、いっしょに 決めようよ。そして、交代で リードするんだ。サラの 行く 方に ぼくが 行ったら、その次は、ぼくの 行く 方に サラが 来たら いいんだ。そしたら きっと、目的地に 着けるよ。」

「じゃあ・・・やってみましょうか・・・。」

トーマスは サラに うでを 回し、サラも トーマスに うでを 回しました。最初は ちょっと ぎくしゃくしていたけれど、だんだん なれてきて、まもなく 二人は 肩を 組んで、いっしょに 決めた 目的地に 楽しそうに 進んだのでした。

あなたには、自分と 合わないと 思う 人が いますか？ その人の 必要や 希望を 考えてあげるように しましょう。それこそ、新しい 友だちを 作る ヒケツかも しれませんよ。

文：デヴォン・T・ソマーズ　　絵：アルビ
Copyright © 2013 年、ファミリーインターナショナル
"The Three-Legged Walk"--Japanese
http://www.mywonderstudio.com